

## INFO-HIRO-21

第 504 号 2021 年 8 月 2 日  
弘前大学総務部広報・情報戦略課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、変更が生じる場合がございます。  
最新の情報は弘前大学公式ホームページ(<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>)にてお知らせいたします。

### イベントのお知らせ

#### 理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻博士論文公聴会のお知らせ

理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

- (1) 日 時：2021 年 8 月 2 日 (月) 12 : 40 ~ 14 : 10  
学位申請者：安 萍 (An Ping)  
論文題目：Process Design and Simulation of Light Calcination of Magnesite with High Efficiency  
(マグネサイトの高効率かつマイルドな煅焼プロセスの設計とシミュレーション)
- (2) 日 時：2021 年 8 月 3 日 (火) 10 : 20 ~ 11 : 50  
学位申請者：王 佩芬 (Wang Peifen)  
論文題目：Synthesis novel catalysts with low crystallinity for effective elimination of volatile organic compounds (VOCs)  
(揮発性有機化合物 (VOC) を効果的に除去するための低結晶化度の新規触媒の調製)
- (3) 日 時：2021 年 8 月 3 日 (火) 16 : 00 ~ 17 : 30  
学位申請者：趙 忠凱 (Zhao Zhongkai)  
論文題目：Novel Reactor and System Design/Simulation for Carbon-based Energy Conversions (炭素ベースのエネルギー変換のための新しい反応器及びシステムの設計とシミュレーション)
- (4) 日 時：2021 年 8 月 4 日 (水) 10 : 20 ~ 11 : 50  
学位申請者：Yue Xiyan  
論文題目：MoS<sub>2</sub>-based anode for sodium ion batteries  
(ナトリウムイオン電池用の MoS<sub>2</sub> ベースアノード材料の開発)

■対 象：本学学生、教職員、一般の方等どなたでも

※新型コロナウイルス感染防止のため、公聴会は Microsoft Teams を使用してオンライン会議によって行います。ご参加を希望される場合、必ず事前 e-mail でご申込ください。

【問い合わせ先】

(1)～(3)

地域戦略研究所 官 国清

電 話：017-762-7756

メール：[guan@hirosaki-u.ac.jp](mailto:guan@hirosaki-u.ac.jp)

(4)

理工学研究科 阿布 里提

電 話：0172-39-3719

メール：[abuliti@hirosaki-u.ac.jp](mailto:abuliti@hirosaki-u.ac.jp)

**【追加開講決定!】令和3年度弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ受講生募集のお知らせ**

大学院人文社会科学研究所市民カレッジでは、将来大学院への入学を考えている方や、大学院の授業を仕事の合間に少しずつ受講してみたいと考える方に向けたプログラムを提供しています。今回は、データを利活用し課題の抽出や政策立案、地域社会の課題解決策を検討する技術・知識の獲得を目指し、一般市民の方・社会人の方向けに開催します。

- ・ 日時：令和3年10月6日（水）～  
毎週水曜 18:00～19:30（90分×15回開催）
- ・ 科目名：政策科学研究データサイエンス入門
- ・ 受講資格：4年制大学を卒業した方、  
4年制大学卒業者と同等の学力を有する方
- ・ 受講料：11,500円
- ・ 受講方法：全回リモート開催
- ・ 申込方法：問い合わせ先に連絡してください。  
受講申込書などをお送りします。
- ・ 申込締切：令和3年8月31日（火）

※詳細は弘前大学大学院人文社会科学研究所  
ホームページをご覧ください。

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/jinbun/web/daigakuin/sidenav/aomorisatellite.html>

【問い合わせ先】

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ（人文社会科学研究所担当）

電 話：0172-39-3941

メール：[jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ  
**政策科学研究 データサイエンス入門**

本講義は、  
地方行政に携わる自治体・官公庁職員が、  
地域経済を牽引の一助としてデータの利活用をしながら、  
課題の抽出や政策立案などを可能にすること。

様々な地域における課題をデータから読み解く技術や、  
データの可視化手法、体系的な統計学に関する考え方や  
様々な解析手法の活用方法について学ぶこと。

様々な自治体における革新的な事例などを踏まえ、  
より実践的なデータを扱い地域社会の課題解決策を  
検討する技術・知識を獲得すること。

これらを目指して、一般市民の方・社会人の方向けに開催します。

経済学研究科カレッジでは、将来大学院への入学を考えている方や、大学院の授業を仕事の合間に少しずつ受講してみたいと考える方に向けたプログラムも提供しています。  
4年制大学を卒業した方、4年制大学卒業者と同等の学力を有する方ならどなたでも受講可能！

講師・講師内容

90分×15回開催 令和3年10月6日(水)～  
毎週水曜 18:00～19:30

① 政策科学の基礎とデータサイエンスの活用  
② データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
③ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
④ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑤ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑥ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑦ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑧ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑨ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑩ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑪ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑫ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑬ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑭ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用  
⑮ データサイエンスの基礎(統計学)とデータサイエンスの活用

受講料 11,500円 申込締切 令和3年8月31日(火)

お申込み/お問い合わせ「弘前大学 人文・地域研究科教務グループ」  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1 0172-39-3941 0172-39-3189(電話受付) 申込用紙:017-001 Mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

## 第6回放射線看護セミナー「放射線診療における看護に必要な基礎知識2021」Web開催のお知らせ

大学院保健学研究科では、平成28年度から「放射線看護セミナー」を開催してきました。第6回となる今回のセミナーは、COVID-19の影響を鑑み、Web開催することとなりました。放射線看護に携わる看護師のために放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに、放射線診療における看護師の役割について最新の知見をまじえて理解を深めることを目的としています。

なお、本セミナーは令和元年度からINE更新単位取得（5単位）の対象として認定を受けています。

- 開催日時：令和3年10月16日（土）  
13時00分～16時00分
- 開催形式：Web開催（Zoom使用）
- テーマ：「放射線診療における看護に必要な基礎知識2021」
- 対象者：放射線看護に興味・関心のある医療職者（先着150名程度）
- 参加費：無料
- 申込方法：次の専用フォームからお申し込みください（事前申し込み制）  
＜第6回放射線看護セミナー 申し込みフォーム＞<https://forms.office.com/r/aNq6PisX9W>
- 申込開始日：令和3年8月2日（月）  
※申込先着順で定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。
- プログラム：

13:00～13:10	開会の挨拶
13:15～14:15	教育講演1 『放射線の基礎を学び、臨床へ活かす！～放射線の基礎・用語解説と防護～』 弘前大学大学院保健学研究科 辻口 貴清
14:15～14:30	休憩
14:30～15:30	教育講演2 『ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)とは？－保険診療開始1年・驚異的初期効果－』 脳神経疾患研究所 附属 南東北BNCT研究センター長 高井 良尋先生
15:30～15:45	放射線看護高度看護実践コースの教育内容について 弘前大学大学院保健学研究科 野戸 結花
15:45～16:00	閉会の挨拶

【主催】弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

### 【問い合わせ先】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912

メール：[hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp)

参考URL：被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP：<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>



## 「2021年度 放射線看護ベーシックトレーニング」Web開催のお知らせ

大学院保健学研究科では、平成29年度から放射線看護教育支援センターを設置し、看護教員・看護職を対象とした研修会等を行っています。本研修会は、平成28年度に文部科学省の「機関横断的な人材育成事業」に3年計画で採択された公益社団法人日本アイソトープ協会の「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」の後継企画であり、本学主催での開催は今年で3年目となります。放射線看護関連科目を担当できる教員の育成や放射線及びその健康影響・リスクについての知識を身につけた看護職の育成が目的となっております。興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。

- ・開催日時：令和3年11月6日（土）  
13：00～17：20（質疑応答を含む）
- ・開催形式：Web開催（Zoom使用）

### ・プログラム

時間	内容
13:00～	開講式
13:10～14:10	●測定実習① 自然放射線の理解（テキストの演習1, 2, 3） 『放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察』
14:10～14:20	休憩
14:20～15:20	●測定実習② 外部被ばくに対する防護方策（テキストの演習4） 『放射線防護の基本となる事項（時間, 遮蔽, 距離）』※電卓使用
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30	●測定実習③ 移動型エックス線撮影装置の利用時の防護方策（テキストの演習5） 『撮影現場における線量の把握』
16:30～17:00	Q&A
17:00～17:10	大学院の紹介
17:10～17:20	閉講式・アンケートの依頼

※別途、事前学習としてeラーニングの講義を受けていただきます。

※このほか詳細は本事業HPでご確認ください。

〈被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP〉 <https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

- ・対象者：看護職の方、看護教育に関わる教育機関の先生方（先着40名）
- ・参加費：無料（※別途テキストの購入が必要です）  
『改訂版 看護と放射線』（日本アイソトープ協会刊行／定価2,500円+税）
- ・申込み方法：事前申し込み制。次の専用フォームからお申し込みください。  
〈放射線看護ベーシックトレーニング申込フォーム〉 <https://forms.office.com/r/z0PZpWmMak>
- ・申込開始日：令和3年8月2日（月）※申込先着順で定員に達し次第受付終了とさせていただきます。

2021年度  
放射線看護  
ベーシック  
トレーニング

令和3年11月6日・土  
13:00～17:20  
Web開催

対象 看護職者・看護教育に関わる教育機関関係者  
（先着40名）

参加費 無料 ※別途テキストの購入が必要です  
『改訂版 看護と放射線』（日本アイソトープ協会刊行／定価2,500円+税）

事前申し込み制  
次の専用フォームからお申し込みください。  
●放射線看護ベーシックトレーニング申込フォーム  
<https://forms.office.com/r/z0PZpWmMak>

【申込開始日】令和3年8月2日（月）  
申し込み先着順で定員に達し次第、受付終了となります。  
※詳細な研修プログラムは即でご確認ください。

主催 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター  
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター/放射線部

お問い合わせ先 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター（担当：船村）  
TEL:0172-39-5518 FAX:0172-39-5012 E-mail:hs@hirosaki-u.ac.jp  
URL:<https://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/>

※本セミナーは3期定員募集数（5名程）の認定対象セミナーです。

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター/放射線部 弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

【共催等】

共催：弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター  
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター／放射線部

【問い合わせ先】

弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）  
電 話： 0172-39-5518 FAX： 0172-39-5912  
メール： [hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学資料館第27回企画展について(再掲)

弘前大学資料館では第27回企画展として「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—」を6月14日から8月21日まで特設コーナーにおいて開催いたします。

弘前大学の前身学校である旧制弘前高等学校は今からちょうど100年前の大正10年（1921）4月に開校しました。ここ弘前の地に全国から多くの優れた学生たちが集まり、そして巣立っていきました。この企画展では当時の資料や写真から旧制弘高の歴史をふりかえります。

なお新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者の入館を停止している場合がありますので、事前に問い合わせの上、ご来館いただきますようお願いいたします。みなさまのご来館をお待ちしております。

■弘前大学資料館第27回企画展

「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—」

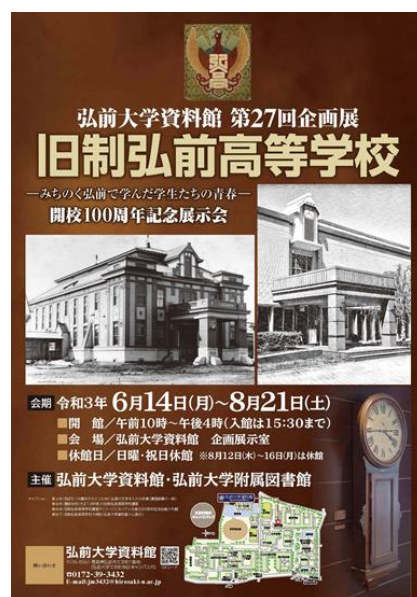
■会 期：2021年6月14日（月）～2021年8月21日（土）  
（日・祝 休館※8月12日（木）～16日（月）は休館）

■時 間：10：00～16：00

■場 所：弘前大学資料館

【問い合わせ先】

弘前大学資料館  
電 話：0172-39-3432  
メール： [jm3432@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3432@hirosaki-u.ac.jp)  
ホームページ： <http://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/>





## 令和3年度弘前大学大学院保健学研究科FD講演会開催のお知らせ(再掲)

弘前大学大学院保健学研究科では、令和3年度FD講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

■日時：2021年9月30日（木）17時00分～18時30分

■会場：弘前大学医学部保健学科 第63講義室  
※状況によりオンライン開催へ変更する場合があります

■講演名  
「ルーブリック評価基準の作成方法」

■講師  
佐藤 浩章先生  
日本高等教育開発協会 会長  
大阪大学 全学教育推進機構  
教育学習支援部 准教授

■参加費：無料

### 【問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科学務グループ  
電話：0172-39-5911

※当日は、パソコンをご持参ください。

令和3年度FD委員会講演会

### ルーブリック評価基準の作成方法

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？  
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思っただけではありませんか？  
ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。  
ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。  
本講演会ではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

講師  
佐藤 浩章 先生  
日本高等教育開発協会 会長  
大阪大学 全学教育推進機構  
教育学習支援部 准教授

日時 令和3年 9月30日(木) 会場 弘前大学医学部保健学科 第63講義室  
17:00～18:30 ※状況によりオンライン開催に変更する場合があります  
参加費無料、事前申込不要

\*当日は、パソコンをご持参ください。

◇プログラム  
17:00 開会挨拶（研究科長：齋藤陽子）  
17:05～18:30 講演（質疑応答含む）

主催：弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？  
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思っただけではありませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本講演会ではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

## 令和3年度弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ受講者募集のお知らせ(再掲)

1. 受講資格：4年制大学を卒業した方
2. 受講料：1科目あたり 11,500 円
3. 会場：弘前大学文京町キャンパス文社会科学部棟
4. 申込方法：問い合わせ先に連絡してください。
5. 受講申込書などをお送りします。

### 【問い合わせ先】

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ  
(人文社会科学研究所担当)

電話：0172-39-3941

メール：[jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

**弘前大学大学院  
人文社会科学研究所市民カレッジ**

**令和3年度 受講生募集**

弘前大学大学院人文社会科学研究所は、地域社会の課題や国際社会の変化に対応できる高度専門職業人を養成しています。社会人のみならず、人文社会科学研究所<市民カレッジ>で「学び直し」「学び増し」を始めませんか？

**市民カレッジの特色**

- 弘前大学文京町キャンパスで大学院の授業科目を受講することができます。
- 学位の取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする課程です。
- 受講科目の成績は、大学院入学後、正期の単位に振り替えることができます。
- 4年制大学を卒業した方であれば、どなたでも受講できます。
- 受講料は、1科目11,500円です（入学科・検定料は必要ありません）。

**開講科目について**

- 10の専門分野からなる専門科目17科目を開講します。
- 大学院の授業科目を正期の大学院生と一緒に受講していただく形になります。
- 市民カレッジの受講者が講義で受講できる科目数の上限は、5科目です。

**申し込み締切日**  
前期開講科目：4月5日（月）、後期開講科目：8月31日（火）

**申し込み・問い合わせ先**  
弘前大学 人文・地域研究科教務グループ  
TEL:0172-39-3941 FAX:0172-39-3189  
Mail: [jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

### ■開講科目【専門科目】

後期	月	9・10	産業組織論	小谷田 文彦	経済・統計分析
	火	1・2	生命環境倫理思想	横地 徳廣	思想・芸術科学
		9・10	雇用政策論	李 永俊	政策評価
	水	5・6	実証会計	加藤 恵吉	会計情報
	木	3・4	イギリス現代小説論	畑中 杏美	言語科学
		3・4	文化財科学	片岡 太郎	文化財論
		5・6	金融論	飯島 裕胤	政策評価
		9・10	日本語史	新永 悠人	日本語・日本文学
	金	7・8	フランス文化論	泉谷 安規	国際地域論

※開講科目の詳細は、弘前大学ホームページ掲載のシラバス（大学院）人文社会科学研究所を参照して下さい。（現在閲覧できるシラバスは2020年開講のものです）

シラバス URL：<https://www.hirosaki-u.ac.jp/support/syllabus.html>

## 学 内 掲 示 板

### 国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第58号」では、「Challenge! 国立大学」において、弘前大学の100円夕食の取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第59号」

[https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/janu\\_vol59.pdf](https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/janu_vol59.pdf)

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/janu/report/koho/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

【担当】総務部広報・情報戦略課 広報室 広報グループ

E-mail: [jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) TEL:内線2015 FAX:37-6594